

病防第67号  
平成24年8月6日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成24年度病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

## 注 意 報

### 平成24年度病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 水稲（早植え・普通期水稲）  
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 早植え・普通期水稲栽培地域
- 2 発生時期 8月上旬以降
- 3 発生程度 多

#### 4 注意報発表の根拠

- (1) 7月30日～8月1日に県内54地点で払い落とし調査を行った。早植え水稲18地点の10株当たり成幼虫数は、3.2頭と過去6カ年の平均（1.2頭）に比べて多く、県内で坪枯れが発生した2006年、2007年および2010年を超える密度であった（表1、図1）。また、発生ほ場率は94.4%と、過去6カ年の平均（60.0%）に比べて高かった（図2）。
- (2) 普通期水稲36地点の10株当たり成幼虫数は、0.6頭と過去6カ年の平均（0.5頭）並であった（表1、図1）。また、発生ほ場率も33.3%と過去6カ年の平均（42.7%）並であった（図2）。
- (3) 5月下旬～6月上旬に移植された中山間地の水田を中心に、要防除水準（9月収穫の早植え：10頭/10株、10月収穫水稲：2頭/10株）を超える地点が確認された。
- (4) 調査では、若齢～中齢幼虫を主体に確認された。しかし、5月下旬～6月上旬に移植された水田では、短翅成虫の発生も確認されており、7月14日の主飛来だけでなく、6月24日に飛来した個体も定着したと考えられる。
- (5) 8月3日福岡管区気象台発表による九州北部地方の気象予報によると、向こう1ヶ月の平均気温は高く、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

#### 5 防除上注意すべき事項

- (1) 予想される6月24日および7月14日の飛来波を対象とした防除適期（幼虫ふ化揃い期）は、表2のとおりである。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高く、現在は低密度に見えても8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。ほ場ごとあるいは、ほ場内でも発生にかたよりが認められるので、定期的に発生量及び発育ステージを確認する。
- (3) 要防除水準は、8月上旬が2頭/10株、8月中～下旬が10頭/10株、収穫30日前が30頭/10株である。要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する。

- (4) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生している。粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
- (5) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

※なお、本文はホームページ「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」に掲載しています。

表1 8月上旬におけるトビイロウンカの10株当たり寄生成幼虫数

| 年   | 2012 | 平均  | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 |
|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 早植え | 3.2  | 1.2 | 2.0  | 2.2  | 0.2  | 0.2  | 1.5  | —*   |
| 普通期 | 0.6  | 0.5 | 0.5  | 1.0  | 0.0  | 0.2  | 1.0  | —*   |

\*：2011年は7月までに飛来が確認されなかったため調査未実施。

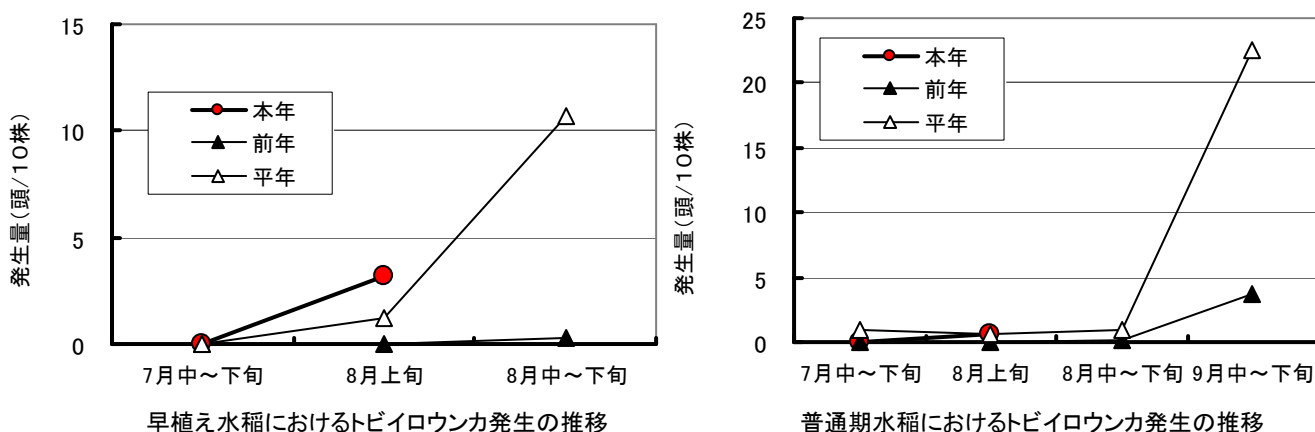


図1 トビイロウンカ10株当たり虫数の推移  
平年：2002～2011年（8月上旬は2006～2011年の平均）

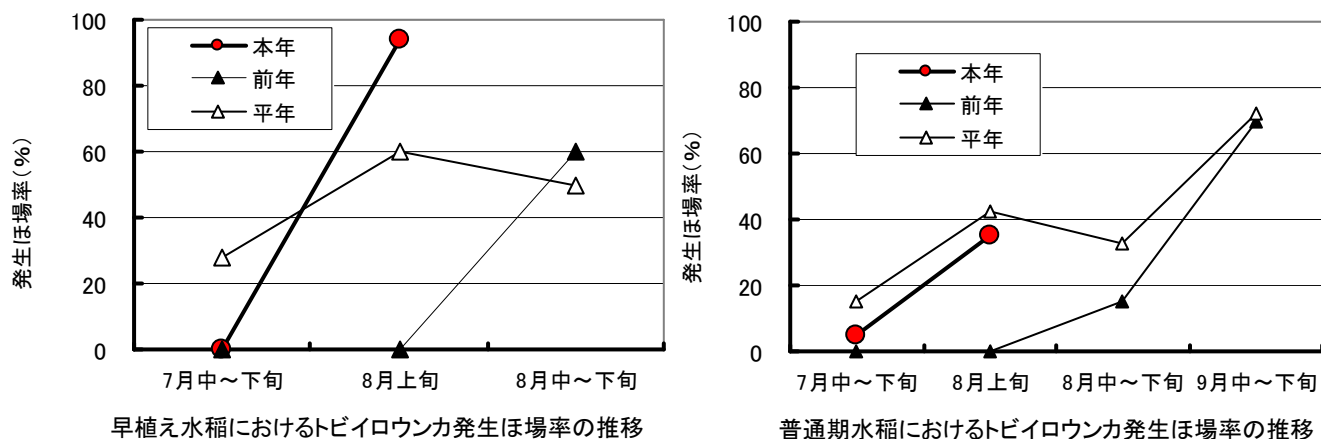


図2 トビイロウンカ発生ほ場率の推移  
平年：2002～2011年（8月上旬は2006～2011年の平均）

表2 予想される飛来波別の防除適期

| 時期       | 6月24日飛来                           | 7月14日飛来                           |
|----------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 地点       | 防除適期<br>第2世代幼虫ふ化揃い期 <sup>注)</sup> | 防除適期<br>第2世代幼虫ふ化揃い期 <sup>注)</sup> |
| 三角       | 8月11～17日                          | 8月28日～9月3日                        |
| 岱明       | 8月10～16日                          | 8月26日～9月1日                        |
| 鹿北       | 8月15～21日                          | 9月1～7日                            |
| 菊池       | 8月12～18日                          | 8月29日～9月3日                        |
| 阿蘇<br>乙姫 | 8月23～29日                          | 9月10～16日                          |
| 甲佐       | 8月13～19日                          | 8月30日～9月5日                        |
| 八代       | 8月10～16日                          | 8月28日～9月3日                        |
| 水俣       | 8月11～17日                          | 8月29日～9月4日                        |
| 人吉       | 8月14～20日                          | 8月31日～9月6日                        |
| 本渡       | 8月12～18日                          | 8月29日～9月4日                        |

注) ・6月24日および7月14日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(8月1日まで  
は今年のデータ、8月2日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

| ステージ | 有効積算温度(日度) | 発育0点(°C) |
|------|------------|----------|
| 成虫   | 125        | 12       |
| 卵    | 135        | 11.4     |
| 幼虫   | 250        | 6.5      |

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所  
(生産環境研究所)

TEL 096-248-6490

山口・行徳

TEL: 096-248-6490